

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員会からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3	・寄付行為では「美容に関する知識・技術を修得させるとともに、技能を磨く精神を涵養し、もって美容文化および国民生活の向上に貢献することを目的とする」と理念、目的を記載。学則上にも、育成人材像を明確にしている。	・教育目標として「挨拶とマナーは接客の基本」を掲げている。 ・育成人材像として下記を目標とし指導を行っている。 1、スペシャリストとしての目標意識や使命感を持ち、自ら進んで学習する学生。2、優れた技術や感性を持ち、何事にもやり抜く根性のある学生。 3、いつも感謝と思いやりの心を持って行動する学生。 4、常に明るい笑顔と規律やマナーの向上に努める学生。 5、社会人としての自覚を持ち、おしゃれ心と清潔感にあふれている学生。	・コフダについて、これだけ全国トップレベルを保っているのは、並大抵のことではないと思う。少子化の中、退学者低減させるため、難しい生徒も先生方が懸命に引き上げているのが手にとってわかり、アツォも含めて大成功し素晴らしいと感じる。 ・社会情勢も含め、変化している学校も柔軟に変化していかなければならないと感じる。
	1-2 学校の特色は何か	3	・ハイレベルな職業教育(国家試験合格率の高さ、現場で通用する基礎技術、接客力)と施設・設備の充実に加えて、幅広い美容技術と学生が将来目指したい職種に対応した科目を取り入れることにより、常に変化している美容業界のニーズに反映したカリキュラムの導入を行っている。 ・学生の満足度を教職員全員で提供できる環境作りにも努めている。	・毎年7月に札幌市民ホールにてヘアショーを大勢の美容業界の方、保護者、一般の方をお招きして行っている。道内の美容学校が行っているヘアショーでは最大規模であり、多数の方から賞賛の声をいただいている。次年度以降も継続していく予定である。 ・全国学生技術コンテストのフインディング(2部門)で、最高賞である文部科学大臣賞を獲得した。カット部門も3位入賞を果たした。	
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	3	・将来の大きな課題は教育内容のさらなる充実と学生募集対策が挙げられる。教育のさらなる充実では、現代社会のニーズに合う若者をしっかり教育し、いかにして実社会に適応させていくかをテーマに、学生と教員の距離をさらに密にコミュニケーションを図っていききたい。学生募集では多様化する情報社会のニーズにマッチした広報を行い、一般の方へも本校を認知させていきたい。	・今後は中期的(5年以内)な事業予算案を策定しつつ、長期的なビジョンを検討していきたい。	
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	3	理事長・校長が示した方針に従い、運営方針を明確にしている。管理職会議、教務会議等で方針が示されている。	月・水・金曜日朝礼前、教務担任のミーティングを行っており、専任教員間での情報共有はしっかりとできている。火・木曜日は朝礼前に副校長をはじめ教頭・各担任と全体ミーティング技術指導及び学生指導において、各教員・各クラスでの指導上の温度差が極力ないように心がけている。学生との信頼関係構築に役立っている。	・学生満足度を図るということ自体がどこに線を引きたいらよいか本当に難しいし、ましてや年度毎に学生の気質も異なる中、素晴らしい実績を残している思う。 ・働き方改革で待遇面等も改善している聞いているので努力している感じる。
	2-5 事業計画は定められているか	3	理事長・校長が示した方針に従い、運営方針及び事業計画も明確にしている。	事業年度前に決定され、理事会・評議員会・監事会で承認を受けている。	
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	3	各部署の業務分担を明確化し、業務担当者は所属長への報告を徹底している。各権限が集中しており効率的である。	運営組織は事業年度前に指し示され、理事長・校長をトップに組織的な運営、意思決定がなされている。	
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	就業規則や各種規定において明確に定めている。	・人事・賃金に関するさまざまな諸規定は、社会保険労務士のアップデートなアドバイスのもと、適格に整備されており、コンプライアンス意識をもって、業務が行われている。 ・働き方改革等から待遇面での改善も若干だが実施した。	
	2-8 意思決定システムは確立されているか	3	各部署の所属長に担当業務を振り分けており、意思決定システムは明確である。	組織内での役割に基づいた意思決定が行われている。	
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	最新の情報システム導入により、業務は効率的に行われている。	最新の情報について情報共有している。	

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	・目標である国家資格の合格率を高める、就職実績、卒業生のサロンからの評価の高さが本校の教育の方向性が正しいことを証明していると自負している。このことを継続できるように努めていきたい。 ・美容業界で活躍する卒業生はもちろんのこと、サロン説明会や個別説明会でオーナーとの接点を数多く持つことで業界の要望をつかみ、教育内容に反映させている	数多くの業界関係者との接点により、教科書に記載されていないこと、今まで取り組んでいないことであっても前向きに採用したい。まつ毛エクステについては教員研修も含めて積極的に取り組んでいく予定である。	・授業アンケートは実施することだけでなく、公表し指導方法を検討してはどうか？
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	3	・国家試験合格に向けて、段階的に各学年での到達レベルを複数回確認しながら進めているので、明確にされている。 ・実技、学科ともに担当教員により到達レベルは明確にされている	特に実技については、学年全員の教員で一人一人の技術を評価し、到達レベルを把握し、評価している。評価は100点法で採点し、平常点を加味している。	
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	3	・美容師法に基づいたカリキュラムのなかで、学生が興味を持ち、かつ現場で役立つカリキュラムを編成している ・国家試験合格率の高さに成果が現れている。	・2年間2,238時間を履修し、内1,551時間を法定課目、687時間を学校独自のカリキュラムとして実施している。また、2年次は3コース制を取り入れている。	
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	3	学科の各科目についてはシラバスによって内容が明確化されており、適正な位置付けがされている。	美容師国家試験合格に向けたカリキュラムを中心にシラバスが作成されている。	
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	3	学生の社会的・職業的観点から実施されている	美容師国家試験合格に向け集中学習することが、学生にとって最も大きなキャリア教育となる。また、美容室の現場で使われている技術を身につけさせることも同様である。その意味で十二分に実施されている。	
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	・外部の実績ある技術研修へ参加を奨励しているほか、教員間が緊密にコミュニケーションを行い、常にお互いに確認を行いながら、教育力・技術力の向上に取り組んでいる。 ・組織だった授業評価のアンケートは実施していないが、総括的なアンケートを実施し、学生の講義、実習に対する全体把握を行った。	実習中心の授業は学生とマンツーマンでコミュニケーションをとりながら技術を教えていく。その際に学生評価を聞き、フィードバックすることができる。教員が技術指導する際は、事前に面談を行うことにより学生理解を深めながら指導にあたっている。引き続き、「学生満足度」をキーワードに学生を褒めながら技術指導を行い、最後まで諦めない指導を教員に周知徹底している。学科講師にはわかりやすい授業実施を繰り返しお願いしている。	
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	・法令に定められている教員要件を満たしていることは当然のこと、採用段階での学科の育成目標や目指している学生像を説明することにより、学校サイドの考え方を明確に説明している。 ・法定要件に合致した教員のみ採用し、さまざまな機会を通じ学校の育成目標に触れさせている	学生教育にあたり、実務経験の十分な教員を確保し、道内のみならず首都圏等でさまざまな研修を受講させている。	
	3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	成績評価・単位認定については、教務規定に明記し、入学時及び在学中、保護者説明会等で学生本人のみならず保護者へも書面を配布し、口頭でも説明し周知している。	入学時、試験前、進級時に管理職、担任から繰り返し説明している。	
3-18 資格取得の指導体制はあるか	3	目標としている資格が明確に定められている。特に2年次後期は美容師国家試験合格については対策授業を中心に十分にサポートできる体制が整っている。	・国家試験合格に向け、実技、筆記ともに本番をシミュレーションしながら、行っている。 ・模擬試験を6回実施し、試験点数下位の学生については繰り返し、各教科毎の補講授業を行っている。		

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員会からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
4 教育成果	4-1-19 就職率（卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているか	3	平成31年3月卒業生は、就職希望者151名中143名の就職内定を頂き卒業した。（就職率94.7%）ここ数年、職業意識が薄くなかなか就職活動を行わない学生もいる。そのため、求人票の見方、履歴書指導、面接指導など、学務と教務が連携しながら個別に就職指導を行う。	・就職担当者との個人面談、校内で年5回行われるサロン説明会（1回につき約50社程前後）、個別説明会を通じ、数多くのサロンと触れる機会を作り、完全就職を目指している。	
	4-2-0 資格取得率の向上が図られているか	3	国家試験合格のみならず、他の民間資格取得も100%を目標に今後も適切な指導体制が取れるよう実施する。	・平成31年3月卒業生164名中153名が美容師国家試験合格し、合格率93.3%であった。実技1名不合格、筆記10名不合格だった。 ・課外ゼミ等を通じて、各種資格取得を目指し、学びの機会をより多く提供している。	・技術習得とコミュニケーション能力向上が教育の柱とのことだが、技術指導は十分行っていると思うので、コミュニケーション能力を高める教育に重きを置き、指導を行うのが良いのではないかと。
	4-2-1 退学率の低減が図られているか	3	スチューデント・サティスファクションを掲げながら学生指導に当たっている。個々の学生が何を目標に目的として学んでいるかを常に頭から離さないよう学生と接している。自分の経験値だけで学生の良い、悪いの評価をしないことを心掛け、信頼関係の構築の手段として複数回、個人面談を活用している。	・進路に悩みのある学生については、担任、学年主任、教頭、副校長、学務との面談機会を複数設け、その解決に向け努力している	・基本的に本校の卒業生を採用しているため、今後ともよろしく願いたい。
	4-2-2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生の活躍は、概ね把握している。また、在校生は校外コンテストにより優勝・入賞を本校ホームページに掲載している。	1万名を超える卒業生のすべての活躍は把握できないが、新聞（業界紙含む）、美容組合、卒業生からの口コミ等、多方面に広く情報提供をお願いしている。	
5 学生支援	5-2-3 就職に関する体制は整備されているか	3	就職に関する体制は就職担当者を専門に配置し、担任が個人面談を複数回行い、本人の希望調査も1年次・2年次と意識調査を行っている。そのことにより学生が求めている求人内容を理解・整理している。本人希望や適性等を把握することが出来る。	学生と担任との面談、就職担当者との面談により、履歴書作成、作文指導、面接指導などきめ細かく行われている。	
	5-2-4 学生相談に関する体制は整備されているか	3	学生相談についてはクラス担任制により、個別に相談に応じている。本校の担任制は1担任1クラス制のため、複数のクラスを担当することがないため、手厚い指導が可能となっている。	・学費、進路、生活、就職などさまざまな相談に数多くの教職員が対応している。 ・具体的には3種類の個別面談を行っている1. 学業面での相談 2. 生活面での諸問題相談 3. 学校生活全般の相談	
	5-2-5 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3	・本校独自の学費の一部が免除となる特待生や学費分納制度等、ある程度の支援体制は整備されている。 ・学費困難な学生に対しては具体的には ①学費納入時期の柔軟な対応、②学費納入時に、分割納入対応を行っている。	入学時に学校独自の特待生制度があり、多くの学生が学費減免されている。さらに、毎月払いにできる独自制度の利用者も多い。もちろん、学生支援機構の奨学金についても担当者が丁寧に対応している。	・近年、働き改革等が施行され、その中で技術職を育てていくことはとても難しいが、将来、残る仕事として今後とも美容業界の人材を送り出して欲しいと思う。
	5-2-6 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	年1回の学生全員に健康診断を行っている	「日本健康クラブ」の健診を通じて、健康管理を行っており、必要に応じ2次健診をうけてもらっている。	・学生支援談話体制や学費の免除や分納等、あらゆる面で学校努力をしていると感じる。
	5-2-7 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	課外活動としては本校が独自に設定している課外ゼミがあり、ゼミの中には各種資格取得や校外のコンテストへ出場するための技術指導等の支援体制が整備されている。	放課後に数多くの課外ゼミが行われている。そのコンテスト出場者の旅費や講師料を学校が一部援助している。結果として、全国優勝を含め素晴らしい実績を残している。新年度からは個人負担分を学校が全面負担するコンテストサポート制度行っており4名が採用された。制度のもと、積極的にコンテストへ参加している。	・就職に関して近年、危機感が少ない学生が増えてきているので、対策の強化が必要と感じる。
5-2-8 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	3	本校と提携している複数の学生会館の斡旋をはじめ、一人暮らしを希望している学生に対しては信頼のおける不動産会社の紹介等も行っている。（仲介無料物件、家具付物件の斡旋等）	入学前の資料として、学生寮、賃貸アパート紹介業者に関する資料を送付している。特に、学生寮等は何かトラブルがあったときに連絡を密接にとっている。		

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1				
	5-29 保護者と適切に連携しているか	3		保護者の連携は適切であると認識している。入学時の保護者説明会の実施、学期ごとの成績表の通知、学生の出席状況が常でない場合等には必要に応じて保護者面談、三者面談を実施している。	入学時のオリエンテーションから始まり、在学中の欠席が重なった場合、学費滞納時、学校生活で問題が発生した場合など、密に連絡を行い対応している。	
	5-30 卒業生への支援体制はあるか	3		卒業生とは学務を中心に連絡を取り合い様々な相談に応じている。特に求人情報の提供も行っている。	主に就職、国家試験再受験時のサポートなど行っている。	
6 教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3		施設・設備については高いレベルで整備されていると考えている。実際のサロン現場で使用されている機材等の完備をはじめ、実践授業を想定した実習室が多数完備されている。	・各クラス分の専用教室が完備されていることをはじめ、2つのシャンプー実習室、メイクスタジオはすべて一人一台体制での授業を行い、学生の満足度の高い授業を行う環境が整っている。 ・竣工して13年経った施設だが、今現在も、十二分な設備と内容であり、学校関係者にも高く評価されている。	
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3		学外実習、海外研修、校外でのコンテスト参加は卒業後、サロン現場で活躍する際に大切な経験であると考えている。特に海外研修は国際的な技術等を真近で見れる貴重な体験である。今後も予定していきたい。	海外研修等は引率教員立ち会いのもと、担当旅行代理店が旅行前に最低3回の説明会を行い、心構えや注意事項を説明し効果的な研修となるようにしている。催行最低人員に達せず、実施できない年度もあるが、安全面を考え海外研修等を学生へ案内したい。	・特記なし
	6-33 防災に対する体制は整備されているか	3		防災に関する体制は日常からの確に機能できるよう準備されている。	防火管理者のもと、防火組織を作成している。	
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	3		学生募集活動は、入学案内・募集要項の通り、適正に行われている。	・入学対象者の学校選びの選択肢を広げる考えから、オープンキャンパスを行っている。遠方の参加者に対するフォローとして、無料送迎バスや交通費補助制度、ホテルでの無料宿泊の提供を行うことで、より多くの対象者に来校してもらい施設等みていただき、入学に関する疑問等を解消し納得して出願してもらう環境を整えている。 ・誇大広告や紛らわしい表現で高校生を惑わすことのないよう細心の注意を払っている。A0入学では、（公社）北海道私立専修学校各種学校連合会で定められたルールを遵守している。	
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3		入学案内・ホームページ等を通して、国家試験合格率・就職実績等の教育成果を正確に紹介している。	・入学案内、HP、DVDを作成し、進学相談会で教育成果を伝え、さらにオープンキャンパス等で在学生の教育成果を高校生に知ってもらうよう努力している ・SNS（LINE）やInstagramを使った、学校の授業やイベント、オープンキャンパスの案内等の情報配信を行っている。	・厳しい状況でも先を見て本校は変化している感じているし、美容業はなくなる職業だと思ふ。その中でもここ学校は老舗でもあり、今後も存続していくと思っている。
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	3		募集要項に掲載している通りに、本校の選考基準に従い、公平且つ厳正に行っている。今後このことを継続していきたい。	美容師が接客業であることから面接をメインに入学選考を行っているが、さまざまな観点から点数化し適正公平な基準で実施している。	
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか	3		学納金について妥当と考え設定している。	・札幌市内の美容学校4校の中でも最も金額を抑えて設定している。学費負担者に対して負担をなるべく抑えることは基より、年間学費を諸経費を含め、募集要項に正確に明示している。 ・学校経営上、また他の美容系学校との比較から適切であると考えている	

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
8 財務	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	財務基盤は健全であると言える。収支予算計画が妥当に執行されている。	今後、入学生減少が予想されるがそれに対応できる基盤ができあがりつつある。	・学校経営は堅調でありよいと思う。
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	財務については税理士の指導を受けながら、適切に会計を行っている。	例年、3月に理事会・評議員会・監事会において、予算収支計画の承認を得ている。また、5月には前年予算に基づいた決算について承認されている。	
	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか	3	財務については顧問の公認会計士の指導を受けながら、適切に会計監査を行っている。	監事による監査並びに理事会・評議員会への報告が行われている。	
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	3	財務情報公開については、本校のHP、情報公開コンテンツで、法人の財務状況を公開している。	法人の財務状況は、HP上で「貸借対照表」「資金収支計算書」「消費収支計算書」を公開している。	
9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	法令及び設置基準に対して適正に運営している。教職員のみならず学生に対しての啓蒙として外部から講師派遣による講義も行っている。	全学生に対してSMBCコンシューマーファイナンス（株）から講師を招聘して「金融関連のコンプライアンスセミナー」を行っている。新年度についてはNTTドコモより「SNSリテラシー」のセミナーを行った。 ・監督官庁からの文書や指導に基づくコンプライアンスに従い、学校運営が行われている	・法令の遵守については、近年はSNSの普及により、本心に難しい対応を迫られている。他業界でも対応に苦慮していると聞くので、さらなる対策が必要と感じる。
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護法対策は教職員への啓蒙も含めて、厳格に行っている。	・国際規格の認証を獲得したグローバルサイン社のセキュリティシステムを利用した情報管理を導入しており、ホームページ上にも明記している。 ・ウィルス対策を行うことはもちろん、学生のプライバシーに関わるデータについては、細心の注意を払い取り扱っている。 ・学校教職員用回線と学生用回線の物理的な分断を行っている。 ・情報漏洩防止のため端末のシンクライアント化を行っている。	
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検・自己評価を行う評価体制は整い、平成25年度より結果をホームページの公開している。問題点については改善に努めていきたい。	自己点検・自己評価の実施はもちろん、特に学校関係者評価委員からご意見は、謙虚に受け止め改善に努めたい。	
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	3	本校のHPに「学校関係者評価委員会評価結果及び改善方策」を公開している。	今後も引き続き公開していきたい。	
	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3	在校生が冬季を除く毎日、校舎周辺の清掃活動を行っている。	学校法人の公益性に鑑み、他に機会があれば取り組みたい。	
10 社会貢献	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	学生個々が可能な範囲内でボランティア活動を行うことを奨励している。	具体的なボランティア活動として、4年間ハロウィンイベントで子供40名程ヘアメイク等を行った。今後も積極的に美容分野でボランティア活動をお行っていくたい。	

平成30年度 自己点検・自己評価 集計表

平成30年度自己点検自己評価（平成30年4月1日～平成31年3月31日）による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	学校関係者評価委員からのご意見
		優れている・3 適切・・・2 改善が必要・1			
11 国際 交流	11-48 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	現実に留学生はいないが、アジア地域の留学生受け入れを検討したい	特になし	・特記なし
	11-49 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2	受け入れ時には、適切な手続きをとりたい		
	11-50 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	受け入れ時には、適切な体制をとりたい		
	11-51 学修成果が国内外で評価されると取組を行っているか	3	積極的な取り組みを行っている	コンテストでの全国優勝や入賞をHPにアップすることはもちろん、マスコミへの取材依頼も行き複数回、新聞記事として掲載されている。	